



Rotary



ロータリーは
機会の扉を開く

ロータリーの 青少年保護のための危機管理 について思うこと

国際ロータリー第2660地区

青少年保護のための危機管理委員会

2018-19年度

2019-20年度

2020-21年度

委員長 片山 勉

本日の流れ



はじめに



ハラスメント



RIの青少年保護に関する規定の変遷



危機管理委員会の現状報告と課題



まとめ ロータリーの青少年保護のための
危機管理について思うこと

はじめに

「危機」とは

自分や自分の組織にとって好ましくないことの全て。

自然災害、事故、犯罪、病気、不祥事、経済的破綻

etc・・・

危機管理の基本姿勢

- ① 「必ず起こる」との自覚と覚悟
- ② 予防、演習と業務執行におけるマニュアルの励行
- ③ 発生時の想定と対策の策定
- ④ 専門的知見、経験、能力、アドバイザーの確保
- ⑤ 被害者対策、被害回復・復旧の専門チームの確保
- ⑥ 広報マスコミ対策の研究

危機管理について承知しておくべき基本事項

- ① 危機は常に想像を超えて発生するもの
- ② 突発に対して人間はすぐに反応できない
- ③ 「三人寄れば文殊の知恵」は通用しない
- ④ 注意していれば危機には必ず前兆がある
- ⑤ 世の中(世間)の理解や同情を当てにしてはいけない

ハラスメント

ハラスメント＝『嫌がらせ、いじめ』

他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、

相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、

脅威を与えることを指す。

ハラスメント

セクシャルハラスメント

青少年に対して、その性別や性的指向、性自認を問わず、間接的または直接、性的な誘いかけや性的行為の要求をするだけでなく、大人がハラスメントとして全く認識していない言動も、青少年がハラスメントとして感じてしまえば、それは、すなわちハラスメントとして判断される可能性がある。

日本に限らず、世界的に「ハラスメント」は大きく変化

- 告発し易い環境と意識の変化。
メディア報道やSNSの普及により告発や配信が容易に。
いわゆる「炎上」が深刻化。
ハラスメント賛否両論型炎上が多く、口論になりやすい。
- ハラスメントは、社会に問題提起できる。
社会的ステータスの高いロータリアンは、
報道の絶好のターゲット。



**「ハラスメント」に対する意識・環境の
変化を理解する！**

予防は社会の変化への対応。

私たちの周りでハラスメントが起こっている。

RIの青少年保護に関する規定の変遷

2002年 ロータリー章典(2-130)

「青少年保護と旅行に関する規定」

- 対象: 青少年交換留学生
- 範囲: セクシャルハラスメント
- 内容: ゼロ・トレランス(ゼロ容認方式)

内容

- ① RIはハラスメントに対して、いかなる違反も法規適用する。
 - 申し立てが受理された時点で、全て司法機関に委ねる。
- ② セクハラが起こった場合、地区役員が知った時から72時間以内にRIに報告しなければならない。
 - 怠った場合はクラブの認証を取り消す。
- ③ 損害賠償保険への加入
 - セクハラが起こった場合の、ガバナー・地区委員長・クラブ会長・クラブ委員長を対象とした保険
- ④ 青少年交換留学生が旅行する際の手続き要領と、保険に加入する。

ロータリー章典(2-130)「青少年保護と旅行に関する規定」

2018年10月改定

- ① 対象をRIの青少年活動プロジェクトの全てに拡大
(RYLA・RAC・IAC・青少年交換)
- ② 個人情報保護規定を追加
欧州の規制に合わせる。

ロータリー章典(2-130)「青少年保護と旅行に関する規定」

2019年4月改定

- ① ロータリーの行動規範に1項目を追加 ※5項目になる
ロータリーの会合・行事、および活動において
ハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、報告した人への報復が起こらないように確認する。
- ② 児童虐待を追加(セクハラだけではなく)
- ③ インターアクトの海外研修は青少年交換として行う。

ロータリー章典(2-130)「青少年保護と旅行に関する規定」

2019年10月改定

- ① 『範囲』を全てのハラスメントに拡大
- ② 児童虐待を『虐待』に改訂

地区危機管理委員会の現状報告と課題

改称

ロータリー青少年保護のための地区危機管理委員会

1. 自然災害・テロ・パンデミック等 発生時の危機管理はガバナー専任事項として、地区危機管理委員会は必要なシステムを構築する。
2. 青少年保護のための危機管理を委員会の責務とする。
3. 地区危機管理委員会の構成(2020-21年度)

1. 自然災害・テロ・パンデミック等 発生時の危機管理はガバナー専任事項として、地区危機管理委員会は必要なシステムを構築する。

済

① ガバナー事務所のデータ保全措置

検討中

② 受け入れ奨学生のアセスメント確認システムの構築

検討中

③ 地区内クラブ及びロータリアンの被災状況の確認システムの構築

済

④ 危機管理積立金の増額(1千万円→2千万円)

2. 青少年保護のための危機管理を委員会の責務とする。

- ① 対象：全ての青少年奉仕活動（米山奨学生・一部学友会員を含む／性別や未成年の区別なく）
- ② 24時間対応の緊急連絡先カード制作・配布
- ③ ロータリークラブ・ロータリアンへの啓発と研修
- ④ 「青少年のためのハラスメント相談窓口」をガバナー事務所に設置と周知
- ⑤ 青少年に対するセクハラ予防対応の手引き
- ⑥ ハラスメントの範囲拡大への対応（検討中）

2. 青少年保護のための危機管理を委員会の責務とする。

- ① 対象：全ての青少年奉仕活動（米山奨学生・一部学友会員を含む／性別や未成年の区別なく）
- ② 24時間対応の緊急連絡先カード制作・配布
- ③ ロータリークラブ・ロータリアンへの啓発と研修
- ④ 「青少年のためのハラスメント相談窓口」をガバナー事務所に設置と周知
- ⑤ 青少年に対するセクハラ予防対応の手引き
- ⑥ ハラスメントの範囲拡大への対応（検討中）

ハラスメント発生時のRIゼロ・トレランス対応の為に、 24時間対応の緊急連絡先(名刺サイズ)制作・配布

緊急

24H

緊急時は昼夜に問わず
下記にご連絡ください

危機管理委員会 緊急連絡先

片山 勉 (委員長)	090-3164-9511
近藤真道 (副委員長)	090-7097-8743
ガバナー事務所	06-6264-2660

Rotary



2018-2019年度
国際ロータリー第2660地区
Rotary International District2660

2. 青少年保護のための危機管理を委員会の責務とする。

- ① 対象：全ての青少年奉仕活動（米山奨学生・一部学友会員を含む／性別や未成年の区別なく）
- ② 24時間対応の緊急連絡先カード制作・配布
- ③ **ロータリークラブ・ロータリアンへの啓発と研修**
- ④ 「青少年のためのハラスメント相談窓口」をガバナー事務所に設置と周知
- ⑤ 青少年に対するセクハラ予防対応の手引き
- ⑥ ハラスメントの範囲拡大への対応（検討中）

あなたは大丈夫ですか？

それもセクハラですよ!!

STOP

その行為をセクシャルハラスメントどうかを決めるのはあなたではありません。
無意識にしているあんなことこんなことが冗談で済まされない場合があります。
相手に配慮した言動を心掛けましょう。

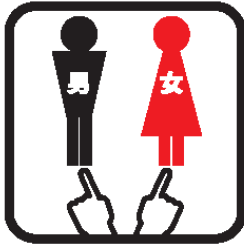
一方的なメール攻勢



噂話や性的冗談



性別で決めつけない



しつこい誘い



スキンシップ



熱視線



ロータリアンはセクハラと受け止められる行動・言動をしないことを宣言します。

Rotary
第2660地区

地区主催のセミナーやクラブ例会での卓話 ポスターの制作・配布

ロータリアンはセクハラと
受け止められる
行動・言動をしないことを宣言



2. 青少年保護のための危機管理を委員会の責務とする。

- ① 対象：全ての青少年奉仕活動（米山奨学生・一部学友会員を含む／性別や未成年の区別なく）
- ② 24時間対応の緊急連絡先カード制作・配布
- ③ ロータリークラブ・ロータリアンへの啓発と研修
- ④ 「青少年のためのハラスメント相談窓口」をガバナー事務所に設置と周知
- ⑤ 青少年に対するセクハラ予防対応の手引き
- ⑥ ハラスメントの範囲拡大への対応（検討中）



Rotary International District 2660
Service Above Self - One Profits Most Who Serves Best

Rotary International Youth Exchange
District 2660 Inbound students

RID2660 Harassment Consultation Window for Youth Exchange Students

International Rotary District 2660 has “Harassment Consultation Window for young people participating in Rotary programs”. This is set up for easing the anxieties of you during your stay in Japan. You can make contact with this window anytime if you feel uncomfortable or feel like you’ve been harassed when you participate in Rotary club meetings and some other Rotary events. Please feel free to send an e-mail anytime when you are in trouble and find it difficult to speak to your host family and club counselor. Either English or Japanese is OK. The counselors will protect your privacy.

All the Best,

Takao Shinomiya
District Governor 2019-20
Tsutomu Katayama
Crisis Management Committee Chair / PDG
District 2660, Rotary International

RID2660 Harassment Consultation Window for Youth Exchange Students

E-mail : anytime@ri2660.gr.jp
Language: English / Japanese
Contact Personnel : Ms. Azumi Sugimoto (Governor’s Office)
Counselor : Mr. Shinji Shiotani
(Crisis Management Committee Member/ RC of Osaka East)
Ms. Masae Kakutani
(Crisis Management Committee Member/ RC of Ibaraki-west)
Vivian Lin (Yoneyama Alumni Association Kansai)



Rotary International District 2660
Service Above Self - One Profits Most Who Serves Best

国際ロータリー第 2660 地区
の皆様

国際ロータリー第 2660 地区
ガバナー 四宮 孝郎
地区危機管理委員会 委員長
バストガバナー 片山 勉

「第2660地区の青少年のためのハラスメント相談窓口」について

国際ロータリー第2660地区には「青少年のためのハラスメント相談窓口」があります。こちらは、第2660地区のプログラムに参加する青少年の皆さんが日本にいる間、安心して過ごせるように、何でも相談できる窓口です。もし、皆さんがロータリークラブやロータリークラブの行事に参加したときに、疑問や不安なことがあって、カウンセラーやロータリアン、ホストファミリーに相談しにくいことがあるときは、この相談窓口にメールを送ってください。英語でも日本語でも、大丈夫です。相談員が皆さんのプライバシーを守って、対応します。

【第2660地区 青少年のためのハラスメント相談窓口】

専用メールアドレス anytime@ri2660.gr.jp
使用言語 英語または日本語
窓口担当者 ガバナー事務所 杉本 亜鶴巳
相談員 塩谷 眞治 (地区危機管理委員/大阪東ロータリークラブ)
角谷 眞枝 (地区危機管理委員/茨木西ロータリークラブ)
林 小 薇 (米山学友・関西)

【第2660地区 青少年のためのハラスメント相談窓口】

専用メールアドレス anytime@ri2660.gr.jp

使用言語 英語または日本語

窓口担当者 ガバナー事務所 杉本 亜鶴巳

相談員 塩谷 眞治(地区危機管理委員/大阪東RC)

相談員 角谷 真枝(地区危機管理委員/茨木西RC)

相談員 林 小微(米山学友/米山奨学生学友会 関西)

対応について 相談窓口で受け付け次第、ガバナーに報告のうえ相談員が検討し、より専門性が必要な場合は人選し、地区担当委員会と話し合い速やかに対応する。

2. 青少年保護のための危機管理を委員会の責務とする。

- ① 対象：全ての青少年奉仕活動（米山奨学生・一部学友会員を含む／性別や未成年の区別なく）
- ② 24時間対応の緊急連絡先カード制作・配布
- ③ ロータリークラブ・ロータリアンへの啓発と研修
- ④ 「青少年のためのハラスメント相談窓口」をガバナー事務所を設置と周知
- ⑤ 青少年に対するセクハラ予防対応の手引き
- ⑥ ハラスメントの範囲拡大への対応（検討中）

2. 青少年保護のための危機管理を委員会の責務とする。

- ① 対象：全ての青少年奉仕活動（米山奨学生・一部学友会員を含む／性別や未成年の区別なく）
- ② 24時間対応の緊急連絡先カード制作・配布
- ③ ロータリークラブ・ロータリアンへの啓発と研修
- ④ 「青少年のためのハラスメント相談窓口」をガバナー事務所に設置と周知
- ⑤ 青少年に対するセクハラ予防対応の手引き
- ⑥ **ハラスメントの範囲拡大への対応（検討中）**

第2660地区 危機管理委員会の構成(第三者委員会)

【委員会】

委員長

片山 勉……会社経営

副委員長

近藤 眞道……住職

益田 哲生……弁護士

辰野 久夫……弁護士

塩谷 眞治……会社経営

角谷 真枝……医療(病院経営)

廣瀬 彰久……福祉(特養経営)

外部構成員

菅沼 清高……元・警察庁官房長

外部構成員

畑山 博史……大阪日日新聞

【アドバイザー】

四宮 孝郎……直前ガバナー

吉川 秀隆……ガバナーエレクト

青少年奉仕統括委員長

吉田 政雄……地区代表幹事

地区危機管理委員会の現状報告と課題

- 危機管理委員長はRIへの報告及び
広報・マスコミへの対応を行う。
- 危機管理委員長が不在の場合は、
副委員長がこれを代行する。

地区危機管理委員会の現状報告と課題

クラブや地区委員会だけで、『こと』を進めるのではなく、クラブ会長と地区危機管理委員会が情報を共有し、一緒に行動することが重要です。

- ① 早く（直ちに）
- ② 事実のみを正確に
- ③ 直接、地区の担当委員会に

報告を！

まとめ「危機管理について思うこと」

青少年奉仕＝「未来のリーダーを育てる」

ロータリーの素晴らしい活動。

クラブ・地区が積極的に実施でき、青少年が安全かつ安心な環境でロータリープログラムに参加できるように地区は支援します。

まとめ「危機管理について思うこと」

- 青少年を守ることはロータリアン・ロータリークラブを守ることにもなります。
- 青少年を守る視点を最優先すべきです。
- ハラスメントが起こってからの対処ではなく、起こさないようにすることです。
- 分け隔てなく、陰日向なく接する。
- 変化を受け入れること、人としての尊厳を保つこと、自分を磨くことではないでしょうか。

まとめ「危機管理について思うこと」

青少年を、

『我が子』と思うことでしょう



ロータリーは
機会の扉を開く

ご清聴ありがとうございました。

国際ロータリー第2660地区
青少年保護のための危機管理委員会

2018-19年度

2019-20年度

2020-21年度

委員長 片山 勉